

UHTR のよくある質問

UHTR とは何ですか。

- UHTR は、500°F～1800°F (260°C～980°C) の使用温度が必要な複合材料部品用の一連のシロキサン複合樹脂です。
- UHTR は、次のように使用できます。
 - UHTR-IPA イソプロピルアルコール中の 65%樹脂固形物
 - UHTR-IPA-RS イソプロピルアルコール中の 80%樹脂固形物
 - UHTR-LS イソプロピルアルコールを含まない 95%樹脂固形物
 - UHTR-NS 溶媒を含まない 100%樹脂固形物

UHTR にはどのような強化材を使用できますか。

- ガラス
- 炭素繊維
- シリカ／石英
- 玄武岩

UHTR は、他の複合樹脂とどこが違いますか。

- UHTR は、最終部品が 500°F～1800°F (260°C～980°C) の使用温度が必要な場合に、現行の複合樹脂の代替品になるように処方開発しています。
- UHTR は、複合材料の製造を熟知しているお客様には、特別な訓練は必要ありません。
- UHTR は、温度安定性を達成するために、ポスト硬化を必要としません。

UHTR にはどのような製造法を使用できますか。

- ハンドレイアップ／湿式レイアップ
- トウ巻き
- バルク成形コンパウンド(BMC)／シートモールディングコンパウンド(SMC)
- 真空含浸
- プリプレグ

UHTR の成形および硬化のガイドラインはどのようなものですか。

- 成形パラメーターは、部品や用途によって変化しますが、一般的なガイドラインは次のようになります。
 - 布地／繊維を UHTR 樹脂で完全に浸潤します。
 - 樹脂注入布地を部品形状に成形します。
 - 150°C で 2 時間、加圧下で部品を硬化します。
 - 最終硬化温度が成形に対して高すぎる場合には、部品を成形できません。
 - 圧力を保持しながら 1 時間で温度を 225°C まで上げます。
 - 金型をオープンから取り出し、冷却させます。

- UHTR は、温度安定性を達成するために、ポスト硬化を必要としません。

どのような市場や用途で UHTR は有用ですか。

- 航空機産業／航空宇宙産業用の複合材およびコーティング
 - 構造用途
 - 複合材防火戸
 - 構造構築構成材用の複合材防火遮断層
- 自動車用複合材
 - 排気管
 - 防火壁
 - バルブカバー
- 海洋用途複合材
- 鑄造工場／耐火材
- 次のコーティング
 - ストーブ
 - 排気機構
 - 炉
 - 料理道具

UHTR についての詳細情報はどこで入手できますか。

- www.dyna-glas.com
- 電話番号: (567) 298-3661
- 電子メール: jbuffy@techneglas.com